

進む食の欧米化、日本の痛風患者の数は100万人超え！？

ヘルス・グラフィックマガジン Vol.24 発行

最新号テーマは『痛風』、薬局から予防に役立つ情報を発信



男性の5人に1人は痛風族

痛風患者は100万人超
 血液中の尿酸の量が増えた状態を「高尿酸血症」といいます。検査値の目安は尿酸値が7mg/dl以上。そのまま放置しておくことで痛風発作を起こすおそれがあります。現在、日本の痛風患者の数は100万人超。高尿酸血症の人のなかから実際に痛風になるのは1割程度といわれており、逆算すると高尿酸血症の人は1000万人を超える計算に。痛風患者は特に男性に多く、日本の成人人口約1億人の平均を男性と考えると、男性の5人に1人が「痛風族」といえるのです。「自分だけは大丈夫」と思っているアナタ、油断は禁物です。

患者の9割は男性
 男性は女性に比べて体内の尿酸の量が多いため、痛風患者の大半は男性です。女性に痛風もちが少ないのは、女性ホルモン（エストロゲン）に尿酸を体外へ排泄する働きがあるためとされています。しかし更年期を迎え閉経すると、エストロゲンの分泌が減少するため、高尿酸血症の危険がぐっと高まります。

男性における痛風患者の過半数率 年代別内訳(人口平均、平成25年)

年代	過半数率 (%)
10-19	0.2
20-29	1.0
30-39	5.4
40-49	15.3
50-59	27.8
60-69	32.9
70-79	32.2
80歳以上	23.3

40代以上が多い
 男性は若壮年層から尿酸が蓄積しやすくなってしまう。実際に痛風の患者は40代以上が圧倒的に多く、特に接待など日頃から飲み会の多い中年サラリーマンは要注意です。

若年化が進んでいる
 近年は不規則な食生活や食べ過ぎ、ストレスなどにより、患者の若年化が進んでいます。また、痛風は遺伝しやすいので、親が痛風の人でも20~30代で痛風を発症しやすいといえます。若者も注意しましょう。

【図解】 痛風 発生(プロフィールP.5)

株式会社アイセイ薬局（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤井江美）は、1月16日、自社で編集・発行する健康情報誌『ヘルス・グラフィックマガジン』の最新号「痛風」特集を発行いたします。

「風が吹いても痛い」といわれ、多くの人々を悩ませている『痛風』。現在日本の痛風患者の数は100万人を超え、いまや誰でもかかる可能性のある身近な病気となりました。痛風とともに7割の人が何らかの生活習慣病を併発しており、痛風の治療は生活習慣病、いわゆる「メタボリックシンドローム」として捉えるべきともいわれています。本号では、痛風の最新情報を、医療的視点から多彩なビジュアル表現と共に解説いたします。

最新号の発行部数は15万部。当社では国民のヘルスリテラシー向上に寄与するべく、『ヘルス・グラフィックマガジン』を全国のアイセイ薬局を中心に350拠点で無料配布しております。また、関係各方面からご好評いただいております本誌は、2016年4月よりオープンメディア化に踏みきりました。これにより、病院やクリニック等の医療機関や、アイセイ薬局以外の保険薬局・ドラッグストア、ヘルスケア関連事業者等での本誌の提供が可能となりました。今後も『ヘルス・グラフィックマガジン』を通じて、予防医療啓発ネットワークの構築をすすめ、皆さまの健康増進に寄与すべく取り組んでまいります。

【取材に関するお問い合わせ先】

株式会社アイセイ薬局
 コーポレート・コミュニケーション部
 担当：霜（しも）・岩崎（いわざき）
 TEL：03-3240-0250 FAX：03-6212-4193
 E-Mail：koho@aisei.co.jp URL：http://www.aisei.co.jp/

男性の5人に1人は痛風患者?? 痛風の原因や予防について徹底分析

生活習慣から痛風になるリスクを判定する「あなたは大丈夫? 痛風危険度チェック」や、痛風は怖いけど晩酌は楽しみたい気持ちに応えるレシピの紹介「美味しいおつまみをあきらめるな! の巻」・「具沢山の痛風知らず鍋で心も満腹!! の巻」。スポーツクラブ ルネサンスのアクアビクスインストラクターによる有酸素運動を促進する「HOW TO WALK」水中ウォーキングのすすめなど、「痛風」の予防に役立つ最新情報を、医療的視点からインフォグラフィクスや写真などを駆使し、分かりやすく解説いたします。



【監修者紹介】



帝京大学医学部附属新宿クリニック 院長 藤森 新先生

日本痛風・核酸代謝学会理事などを務め「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」作成にも参画。

著書に『健診そのあとに 尿酸を自分で改善—生活習慣改善で正常値に戻す』(法研)などがある。

■帝京大学医学部附属新宿クリニック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-1-6JR 新宿ミライナタワー7階

URL : <https://shinjuku.teikyo-hospital.jp/>

両国東口クリニック 理事長・認定痛風医 大山 博司先生

「痛風ホームページ」や痛風専門外来の開設などを通じて、これまでに1万人以上の痛風患者の診療・治療にあたる。

著作に「尿酸値改善のためのプリン体まるわかりBOOK」(サンクチュアリ出版)などがある。



両国東口クリニック 管理栄養士 横関 美枝子

腎臓病などに対する人工透析・痛風・糖尿病などの外来治療、インターネット医療・メディカルフィットネスの4つの医療分野を提供する両国東口クリニックで、管理栄養士として従事。

■両国東口クリニック

〒130-0026 東京都墨田区両国 3-21-1 グレイスビル両国 8階

URL : <http://www.higasiguti.jp/>

『ヘルス・グラフィックマガジン』で広がる予防医療啓発ネットワーク

本誌は、アイセイ薬局の利用者に向けた広報誌として、これまで当社の店頭でのみ配布しておりましたが、予防医療啓発ネットワークの構築を目的に、2016年4月発行の“五月病”号よりオープンメディア化に踏み切りました。病院やクリニック等をはじめ、アイセイ薬局以外の保険薬局やドラッグストア、ヘルスケア関連事業者等での本誌のご提供が可能となり、現在、多方面からお問い合わせをいただいております。当社では「ヘルス・グラフィックマガジン」を通じた予防医療啓発の取り組みにご協力いただける企業さまを積極的に募っております。本誌の設置・配布のご要望や、コンテンツ 2 次利用に関するお問い合わせは以下の連絡先までご連絡ください。

【ヘルス・グラフィックマガジンの設置・配布希望に関するお問い合わせ先】

株式会社アイセイ薬局
 コーポレート・コミュニケーション部
 担当： 門田（かどた）
 TEL： 03-3240-0250 FAX： 03-6212-4193
 E-Mail： hgm@aisei.co.jp URL： <http://www.aisei.co.jp/>

地域の健康サポート拠点となり、健康増進に役立つヘルスケア情報を積極発信

2015年10月に厚生労働省が発表した「患者のための薬局ビジョン」では、調剤薬局が地域住民の健康サポート拠点になること、ヘルスケアに関する情報を積極的に発信することなどが求められています。

アイセイ薬局が、積極的に取り組む“ヘルス・リテラシー戦略”とは、病状改善や健康増進に役立つ情報を患者さまにわかりやすくお伝えすることで、患者さまが予防医療に関する知識を身につけ、自発的に生活習慣改善に取り組める環境を提供していくことです。今後も、当社はヘルス・グラフィックマガジンをはじめとして、店頭の様々なコンタクトポイントを活用しながら、患者さまや地域の皆さまの健康増進のお役に立てるように、全力で取り組んでまいります。

【MEDIA Info】

ヘルス・グラフィックマガジン | 発行部数：150,000部/年4回発行
 判型 200×200mm 全 24 ページ/オールカラー
 配布拠点：全国のアイセイ薬局(316 店舗)
 アイセイ薬局グループの介護福祉施設
 提携医療ならびに『ONLY FREE PAPER』にて無料配布

【COMPANY Info】

発行元：株式会社アイセイ薬局
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-2 丸の内三井ビルディング
 創業：昭和 59 年 9 月(設立：平成 28 年 1 月)
 店舗数：316 店舗(グループ連結：平成 29 年 1 月 10 日現在)
 主要事業：調剤薬局事業 他



Vol. 24 『痛風号』表紙

以上

【取材に関するお問い合わせ先】

株式会社アイセイ薬局
 コーポレート・コミュニケーション部
 担当： 霜（しも）・岩崎（いわさき）
 TEL： 03-3240-0250 FAX： 03-6212-4193
 E-Mail： koho@aisei.co.jp URL： <http://www.aisei.co.jp/>